

社会政策学会 第 148 回大会 総会

議案書・資料

日時： 2024 年 5 月 18 日（土） 17:05~18:05

会場： 慶應義塾大学 三田キャンパス 西校舎 517 教室

- 議題： 1) 規程そのほかの改正について
2) 2023 年度活動報告
3) 2023 年度決算・監査について
4) 次期幹事会体制について
5) 2024 年度活動方針
6) 2024 年度予算
7) 社会政策学会賞選考委員会報告
8) 大会若手研究者優秀賞選考委員会報告
9) 次回大会開催校からのご挨拶
10) その他

議題 1) 会則・規程その他の改正について

① 部会活動費補助規程 第 2 条

・改正の趣旨：会員の大会参加への旅費支給は行わないことを確認する。

現行

第 2 条 【報告者の招聘】 部会の企画・主催する大会分科会に報告者を招聘する場合は、社会政策学会旅費規程を準用し、前条の上限額の範囲内で申請できる。なお部会が非会員を報告者とする企画を企画委員会に提出する際には、会員外から招聘しなければならない理由を、企画書に記さなければならない。

改正案

【報告者等の招聘】 部会の企画・主催する研究会等に報告者・討論者を招聘する場合は、社会政策学会旅費規程を準用し、前条の上限額の範囲内で申請できる。ただし、大会分科会への会員の招聘は旅費の支給対象としない。

2 部会が非会員の旅費を請求する場合には、会員外から招聘する理由を、振込請求書に記さなければならない。

改正歴への記載

一部改正 2024 年 5 月 18 日 大会への会員の招聘は旅費の支給対象としないことを規定

② 大会若手研究者優秀賞表彰規程 第 2 条

・改正の趣旨：できるだけ多くの若手研究者に受賞機会を開く。

現行

第 2 条 【賞の授与】 「大会若手研究者優秀賞」(以下、本賞と呼ぶ)は、本学会に在籍し、大会において優れた研究成果を発表した若手研究者に授与する。本賞は、若手研究者複数への授与を妨げない。

改正案

第 2 条 【賞の授与】 「大会若手研究者優秀賞」(以下、本賞と呼ぶ)は、本学会に在籍し、大会において優れた研究成果を発表した若手研究者に授与する。本賞は、若手研究者複数への授与を妨げない。ただし、過去に本賞を受賞した者には重ねて授与しない。

改正歴への記載

一部改正 2024 年 5 月 18 日 一人の会員に対して複数回の授賞は行わないことを規定

③ 社会政策学会旅費規程 第 6 条

・改正の趣旨：今般の宿泊費の実勢にあわせて、非会員招聘者の宿泊費の上限を引き上げる。

現行

第 5 条 【非会員の大会共通論題報告者】 第 1 条(8)号に該当する非会員の共通論題報告(国内勤務者)は、大会開催の前年度と当年度を通じて 3 回まで往復交通費全額及び 1 泊 1 万円を上限として宿泊費を請求することができる。

改正案

第 5 条 【非会員の大会共通論題報告者】 第 1 条(8)号に該当する非会員の共通論題報告(国内勤務者)は、大会開催の前年度と当年度を通じて 3 回まで往復交通費全額及び 1 泊 2 万円を上限として宿泊費実費を請求することができる。

改正歴への記載

一部改正 2024 年 5 月 18 日 非会員招聘者の宿泊費の上限を 1 万円から 2 万円に引き上げ、実費支給を明記

④ 「会費の割引に関する申し合わせ」の修正

以下を加筆する。

(6) 所属機関において「常勤職」と分類される区分で雇用されていても、次の a) と b) を同時に満たす場合、会費割引対象とする。

a) 想定されている出勤日や勤務時間が週 5 日・40 時間程度より少なく、基本給が時間数またはコマ数に単価を乗じて変動する部分のみで構成されていること

b) 自身の裁量で支出できる所属機関から支給される経費あるいは公的に支給される経費がないこと

議題 2) 2023 年度活動報告

(1) 現勢報告 2024 年 3 月 31 日現在の会員数：1,146 名（前年度比 10 名増）

(2) 2023 年度の活動報告

2023 年度の活動方針は次のようなものであった。

「2022 年度の成果をふまえ、2023 年度は、次のような方針のもと、活動を進める。①学会の資源を結集して大会を開催し、社会政策研究の意義と魅力について、内外に発信し続ける。②引き続き、若手への支援と若手育成に努める。③専門部会と地域部会の活性化に取り組み、学会の内実を強化する。④学会誌のオープンアクセス化を円滑に進める」。

2023 年度は、事務局と各業務分担委員会の献身的な努力に支えられ、学会の日常活動は正常に行われた。なお、各担当幹事のイニシアティブのもと、重点的な取り組みもおおむね計画通りに進められた。活動方針に沿って、主な活動を報告すると、次の通りとなる。

① 大会開催について。第 146 回大会は、立教大学にて開かれた。対面開催を予定していたが、台風によって新幹線運行が休止となる予期せぬ事態が生じた。しかし、大会実行委員会の見事な対応で、全セッションのオンライン化/ハイブリッド化が行われ、会場に来られない人も参加ができるようになった。大会参加者は 308 名で、共通論題は「最低賃金制度をめぐる現状と課題」であった。第 147 回大会は、立命館大学にて全対面の方式で開催された。地方で開かれたにもかかわらず、316 名が参加し、共通論題は「ケアをする権利・しない権利：脱・義務的家族介護を目指して」で、真摯な報告と議論が行われた。

② 若手への支援について。支援の柱の一つの大会若手研究者優秀賞は、順調に受賞者の累積数を増やしている。新設された「若手研究者旅費補助」と「大会懇親会無料招待」

は、好評を得、両制度を活用する若手会員の増加が見込まれる。「研究者育成フォーラム」は、それを支援するコーディネーターたちの努力にも助けられ、いまや学会の機構の一つとして定着している。なお、新設した「修論フォーラム」は、毎年の開催には難点を抱えるものの、期待した成果を出している。

- ③ 部会の活性化について。専門部会の場合、世話人との活発な意見交換をふまえ、「専門部会内規モデル」を作成するなど、部会の活性化に向けて精力的な取り組みを続けた。地方部会の場合、諸般の事情でまだ十分な成果を出せていないが、専門部会・地方部会を問わず、部会の活性化のためには、部会活動費の弾力的な運用が必要とのコンセンサスのもと、「(部会活動費) 補助金支出ガイドライン」を設け、活性化を支援する用意を整えた。
- ④ 学会誌のオープンアクセス化について。2024年度の第16巻より学会誌をオープンアクセス化するという方針にしたがい、2024年3月、ミネルヴァ書房との間に、学会誌のインターネット上の公開および会員向け冊子の製本・送付に関する出版契約を正式に締結した。なお、編集委員会の尽力により、オープンアクセス化に向けた実務的な準備を着実に進めた。

(以上)

議題 3) 2023年度決算・監査報告

社会政策学会2023年度決算書(案)				
<経常会計>				
【収入の部】				
項目	①/23年度 予算	②/23年度 決算(案)	差額 (②-①)	備考
会費収入	9,266,000	10,122,000	856,000	会費納入状況 92.3%(995人/1076人)永年会員68名は会費請求なし。
大会参加費	1,300,000	1,509,400	209,400	146回・147回
学会誌還元金	300,000	375,000	75,000	学会誌第14巻第2～3号、第15巻第1号
雑収入	20,000	111,060	91,060	学会誌販売・利息
その他入金	0	824,192	824,192	会員より寄付、全国大会の剰余金、大会開催への助成金
当期収入合計	10,886,000	12,941,652	2,055,652	
前年度繰入金	15,745,895	15,745,895		5%定期預金10,000,000円
収入合計	26,631,895	28,687,547		
【支出の部】				
項目	①/23年度 予算	②/23年度 決算(案)	差額 (①-②)	備考
大会開催費	3,400,000	3,110,000	290,000	146回・147回
春季大会	1,500,000	1,500,000	0	
秋季大会	1,500,000	1,500,000	0	
企画委員会活動費等	400,000	110,000	290,000	フルベーパーのアップロード
春季大会企画委員会活動費	200,000	55,000	145,000	
秋季大会企画委員会活動費	200,000	55,000	145,000	
旅費	500,000	141,260	358,740	
部会活動費	700,000	57,545	642,455	
学会誌発行費	4,430,000	4,780,159	△ 350,159	学会誌第15巻第1～3号
学会誌代金	2,880,000	2,880,000	0	学会誌第15巻第1～3号
編集作業経費	1,000,000	1,000,000	0	学会誌編集委員会事務委託
オンライン作業経費	300,000	800,250	△ 500,250	オンライン投稿・査読システム
ノイタイプチェック代・謝会等	120,000	50,939	69,061	英大校間
学会誌発送等	30,000	22,000	8,000	宛名ラベル
編集委員会活動費	100,000	26,970	73,030	査読謝礼、書籍代
選挙関連費	200,000	238,484	△ 38,484	
学会賞関係費	710,000	345,679	364,321	
記念品代等	80,000	44,036	35,964	賞状・副賞
審査員図書費等	300,000	172,362	127,638	図書費
旅費	200,000	0	200,000	学会賞関連旅費
書籍検索費	80,000	79,200	800	書籍検索システム
若手研究者優秀賞関係	50,000	50,081	△ 81	賞状・副賞
国際交流関連費	1,000,000	724,246	275,754	147回大会分科会報告連席費を含む
広報関連費	600,000	550,809	49,191	
ウェブサイト管理・構築費	300,000	142,662	157,338	学会サイト管理費(日本語版・英語版)
英文ニューズレター関連費	300,000	408,147	△ 108,147	JASPS Bulletin No.11・No.12
名簿関連費	70,000	55,000	15,000	会員検索スケジュール
内外籍学会分組金	150,000	105,000	45,000	日本経済学会連合、社会政策関連学会協議会、日本学術協力財団
本部経費	1,970,000	2,007,576	△ 37,576	
幹事会費	50,000	15,840	34,160	
学会事務委託費	1,500,000	1,527,173	△ 27,173	会員管理事務
ニューズレター制作費	50,000	41,800	8,200	ニューズレターNo.114～116
その他事務経費	370,000	422,763	△ 52,763	請求書発送印刷費、振込手数料、クレジット決済手数料等含む
学会活性化経費	1,000,000	207,275	792,725	研究者育成フォーラム、若手報告者支援
過年度経費	0	60,000	△ 60,000	過年度 滞稿料
予備費	250,000	0	250,000	
当期支出合計	14,980,000	12,383,033	2,596,967	
次年度繰越金	11,651,895	16,304,514	△ 4,652,619	5%定期預金10,000,000円
合計	26,631,895	28,687,547		
2024年3月31日現在会員数 1,146名				
(永年会員68名、一般会員880名、割引会員190名、海外会員8名)				
※2023年度未除名対象10名				

社会政策学会2023年度決算書(案)				
<特別会計>				
【収入の部】				
項 目	①'23年度 予算	②'23年度 決算(案)	差額 (②-①)	備 考
積立金(経常会計からの繰入金)	0	0	0	
利子収入	0	106	106	
当期収入合計	0	106	106	
前年度繰入金	13,222,410	13,222,410	0	
収入合計	13,222,410	13,222,516	106	
【支出の部】				
項 目	①'23年度 予算	②'23年度 決算(案)	差額 (①-②)	備 考
取崩金(経常会計への繰入金)	0	0	0	
当期支出合計	0	0	0	
次年度繰越金	13,222,410	13,222,516	△ 106	
合 計	13,222,410	13,222,516	△ 106	

社会政策学会2023年度監査報告書

<財産目録>

2024年3月31日現在会員数 1,146名
 (永年会員68名, 一般会員880名, 割引会員190名, 海外会員8名)
 ※2023年度未除名対象10名

資産	2024年3月31日現在 (円)
銀行口座1(経常会計 みずほ普通預金)	16,994
銀行口座2(特別会計)	13,222,516
銀行口座3(定期預金)	10,000,000
銀行口座4(経常会計 ゆうちょ振替口座)	2,642,264
銀行口座5(経常会計 ゆうちょ総合口座)	4,147,206
合計	30,028,970

負債の部(未払金) 経常会計	1,986,180	※学会誌第15巻3号および編集委員会業務委託費
負債の部(前受会費) 経常会計	114,000	※2024年度会費
負債の部(前受金) 経常会計	149,760	※2024~2026年度購読費・148回大会入金
資産の部(前払金) 経常会計	1,500,000	※148回大会開催費
資産の部(未収会費) 経常会計	250,000	※入金予定会費
総合計	29,627,030	

上記のとおり相違ありません

2024年 4月 22日

高 宗 規 

会計監査の結果、上記のとおり相違ありません

2024年 4月 22日 会計監査

杉 田 菜 穂 

議題 4) 次期幹事会体制について

2024-2026 期 幹事と監査	
代表幹事	菅沼 隆
事務局長	中尾友紀*
事務局相談役	熊沢 透
ニューズレター	吉村臨兵
ニューズレター	森 詩恵
学会誌編集委員長	百瀬 優
同副委員長	鬼丸朋子
同副委員長	大津 唯*
春季大会企画委員長	禿あや美
同副委員長	山根純佳*
秋季大会企画委員長	垣田裕介
同副委員長	駒川智子*
国際交流委員会委員長	金 成垣
同副委員長	山崎 憲*
同副委員長	小澤裕香*
広報委員長	水野有香
同副委員長	櫻井純理
地方部会（活性化）	居神 浩
	角 能*
専門部会（活性化）	金井 郁
	森 詩恵
若手研究者支援担当	志賀信夫
	米澤 旦*
	藤原千沙
	田中聡子
日本経済学会連合	松本伊智朗
	杉田菜穂
社会政策関連学会協議会	榎 一江
	阿部 彩
会計監査	石井まこと

*は推薦幹事

議題 5) 2024年度活動方針

- (1) 大会を年に2回開催する。企画活動を強化するため予算の増額を行う。
- (2) 学会誌『社会政策』を電子ジャーナル化し、年1巻4号を発行する。1・2号、3・4号を合本し、年2冊を会員に配布する。誌面構成を変更するとともに、電子ジャーナル化で迅速な公開を行う。
- (3) 国際交流活動を強化する。これまでの東アジア、北アメリカ、ヨーロッパとの国際交流活動を継続するとともに、東南アジアとの交流を進める。
- (4) 若手研究者支援体制を強化する。若手研究者支援事業を経常事業とし、若手研究者支援委員会を設置する。
- (5) 会員への情報提供、会員間交流を促進するため学会ホームページ、ニューズレター、会員宛てメールなどを配信する。
- (6) 専門部会、地方部会の活動支援体制を強化する。幹事会に専門部会担当、地方部会担当を置く。専門部会世話人会を開催する。
- (7) 日本学術会議との関係を維持する。社会政策関連学会協議会、日本経済学会連合を通じた学協会連携を継続していく。

議題 6) 2024年度予算

社会政策学会2024年度予算(案)					
<経常会計>					
【収入の部】					
項目	①'24年度 予算	②'23年度 予算	差額 (①-②)	備考	'23年度 決算(案)
会費収入	9,344,000	9,266,000	78,000		10,122,000
大会参加費	1,300,000	1,300,000	0		1,509,400
大会広告・出展料	200,000	0	200,000	その他入金から独立	235,000
学会誌還元金	200,000	300,000	△ 100,000	学芸部第15巻第2-3号、第16号以降はエネルグア書籍との契約変更により廃止	375,000
雑収入	20,000	20,000	0		111,060
その他入金	0	0	0	大会広告・出展料を独立	589,192
当期収入合計	11,064,000	10,886,000	178,000		12,941,652
前年度繰入金	16,304,514	15,745,895	558,619	うち定期預金10,000,000円	15,745,895
収入合計	27,368,514	26,631,895	736,619		28,687,547
【支出の部】					
項目	①'24年度 予算	②'23年度 予算	差額 (①-②)	備考	'23年度 決算(案)
大会開催費	3,600,000	3,400,000	200,000		3,110,000
春季大会	1,500,000	1,500,000	0		1,500,000
秋季大会	1,500,000	1,500,000	0		1,500,000
企画委員会活動費等	600,000	400,000	200,000	フルページへのアップロード、配布資料印刷、要約筆記	110,000
春季大会企画委員会活動費	300,000	200,000	100,000		55,000
秋季大会企画委員会活動費	300,000	200,000	100,000		55,000
旅費	400,000	500,000	△ 100,000		141,260
部会活動費	700,000	700,000	0		57,545
学会誌発行費	3,950,000	4,430,000	△ 480,000	エネルグア書籍との契約を変更	4,780,159
学会誌代金	1,500,000	2,880,000	△ 1,380,000	学会誌第14巻第1-4号	2,880,000
編集作業経費	1,380,000	1,000,000	380,000	学会誌編集委員会業務委託	1,000,000
オンライン作業経費	820,000	300,000	520,000	オンライン投稿・査読システム	800,250
ネイティブチェック代・謝金等	120,000	120,000	0	英文校閲	50,939
学会誌発送等	30,000	30,000	0	宛名ラベル・編集委員会事務委託	22,000
編集委員会活動費	100,000	100,000	0		26,970
選挙関連費	0	200,000	△ 200,000		238,484
学会賞関係費	660,000	660,000	0		295,598
記念品代等	80,000	80,000	0	賞状・副賞	44,036
審査員図書費等	300,000	300,000	0	図書費	172,362
旅費	200,000	200,000	0	学会賞関連旅費	0
書籍検索費	80,000	80,000	0		79,200
国際交流関連費	1,000,000	1,000,000	0	招待費、通訳補助、学会参加費補助等	724,246
若手支援経費	500,000	50,000	450,000	学会活性化経費から独立	50,081
若手研究者優秀賞関係	60,000	50,000	10,000		50,081
その他若手支援経費	440,000	0	440,000	若手の旅費支援、懇親会招待等 2大会分	0
広報関連費	700,000	600,000	100,000		550,809
ウェブサイト管理・構築費	300,000	300,000	0	月次ホスティング、ドメイン管理	142,662
英文ニュースレター関連費	400,000	300,000	100,000		408,147
名簿関連費	70,000	70,000	0	会員検索モジュール関連費	55,000
内外諸学会分組金	150,000	150,000	0	日本経済学会連合、社会政策関連学会協議会、日本学術協力財団	105,000
本部経費	2,070,000	1,970,000	100,000		2,007,576
幹事会費	50,000	50,000	0		15,840
学会事務委託費	1,600,000	1,500,000	100,000		1,527,173
ニュースレター制作費	50,000	50,000	0		41,800
その他事務経費	370,000	370,000	0	請求書発送印刷費、振込手数料、クレジット決済手数料等含む	422,763
学会活性化経費	500,000	1,000,000	△ 500,000	若手支援経費を独立	207,275
過年度経費	0	0	0		60,000
予備費	250,000	250,000	0		0
当期支出合計	14,550,000	14,980,000	△ 430,000		12,383,033
次年度繰越金	12,818,514	11,651,895	1,166,619	うち定期預金10,000,000円	16,304,514
合計	27,368,514	26,631,895	736,619		28,687,547
2024年3月31日現在会員数 1,146名					
(永年会員68名、一般会員880名、割引会員190名、海外会員8名)					
※2023年度末除名対象10名					

社会政策学会2024年度予算(案)					
<特別会計>					
【収入の部】					
項目	①24年度 予算	②23年度 予算	差額 (①-②)	備 考	'23年度 決算(案)
積立金(経常会計からの繰入金)	0	0	0		0
利子収入	0	0	0		106
当期収入合計	0	0	0		106
前年度繰入金	13,222,516	13,222,410	106		13,222,410
収入合計	13,222,516	13,222,410	106		13,222,516
【支出の部】					
項目	①24年度 予算	②23年度 予算	差額 (①-②)	備 考	'23年度 決算(案)
取崩金(経常会計への繰入金)	0	0	0		0
当期支出合計	0	0	0		0
次年度繰越金	13,222,516	13,222,410	106		13,222,516
合 計	13,222,516	13,222,410	106		13,222,516

議題 7) 社会政策学会賞選考委員会報告

議題 8) 大会若手研究者優秀賞選考委員会報告

議題 9) 次回大会開催校からのご挨拶

2024年10月19日、20日(土・日)

大分大学 旦野原キャンパス

議題 10) その他

★アナウンス

SOLTI 会員検索システムにおける電子メールアドレスの一括公開設定について

①6月1日以降、事務センターでの設定変更により、会員情報に電子メールアドレスの登録のある会員のアドレスを、会員に対して公開します。

②この総会后速やかに、会員向け一斉メールでも同じ内容をアナウンスします。

③公開設定とするアドレスは次の通りです。

A アドレスを一つ登録している会員についてはそのアドレス

B 「所属先メールアドレス」と「自宅メールアドレス」の二つを登録している会員については「所属先メールアドレス」

④メールアドレスの公開を望まれない方は、5月30日までに

g048jasps-support@ml.gakkai.ne.jp へご連絡下さい。

⑤上記④の連絡があった会員を除いて①の処理を行います。③の B に該当する会員で「自宅メールアドレス」公開を希望される方も上記のアドレスまでご連絡下さい。

なお、SOLTI は会員 ID とパスワードによって保護されていて、会員のみが閲覧できる領域です。社会全体に対して無制限に公開されている訳ではありません。

本日以降の手順

- (1) 総会后、会員向け一斉メールを発出
- (2) 5月30日までに連絡のあった会員を事務センターで取りまとめる
- (3) 学会事務センターで会員へのアドレス一斉公開を設定